

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。  
段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ） 月 日 曜日

# 島周りの後の景色

神山小 六年 池田 美春

七月二日、私にとって初めての島周り。私は先頭を歩きたがら頭の中では、本当に二十三キロ歩けるのかなと、心配していた。途中で歌を歌っているところ、どんどんペースが遠くなくなっている。後ろの人が見えなくなるほど遠くにいた。そのまま、休けい場まで走りやうとこのことで着いた。着いた時は、だれもその場にいなかった。ので、

「やっぱり私が一番だったわ。」

ほおにっついていたあせが地面へ落ちる。しばらく呼吸をおろつかせ、水分保きやうをし、ていねと、男の子たちがやうとついた。そして今度はいっしょに歩くことになった。

一つ目の休けい場をスタートし、しばらくみんなを話しながら歩いてきた。そしてあるカーブを曲ると栗生の海の近くで男の子たちが急に走り出した。私もいそいでおうが、おいつかなかった。

3 詩ほどの行も二ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。  
書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。  
段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

( ) 月 日 曜日

はあ。走るの速すぎた。  
 っいつい大きな声で言ってしまった。  
 また一人で歩いていると後方から聞きなれ  
 た車の音がしたのでふりむりて見ると、お母  
 さんの車がすぐ後ろに来ていて、近くの花壇  
 で止まった。私は車の中にリュックを入れ、  
 こん度は後ろの人たちにおいつかれないよう  
 歩き始めた。  
 しばらく歩き、直線の道路のところであつ  
 むいてみると、先生や他の女の子もいっし  
 ゃに歩いていたので、私もみんなといっしょ  
 に歩きながらマーチングをえんそうしている  
 と、あつというまに大川の滝の前にある橋に  
 ついた。その橋と滝の入り口の線をみんな  
 手をつないで飛びこえようということになっ  
 たので、先生の合図で飛びこえる。  
 っせいの。  
 っやったあ。やつとついた。  
 もう、あせがとまらないくらい出ていた。私  
 たちは、早くついたからけしきをながめてい

(不許複製)

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。  
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。



No.

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。  
段落の初めは、必ず一字下げで書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

( 月 日 曜日 )

らと港のどまん前にある石をみつけた。その  
石の上のり、すすんでいるとあつというま  
に顔が港のしぶきで、ひしゃびしゃになつた。  
みんながゴールして、お昼ご飯にそうめん  
を食べた。私は先生や女の子たちと、お茶に  
近くて、かげのある場所を選んで食べた。そ  
のそうめんは、たくさん歩いてあせをたくさ  
んかいた分のおいしさがあり、今まで気付か  
なかつた空ふくもこみ上げてきて手がとまら  
なくなつた。

そして初めて見つけた、最高に港がきれい  
に見えるところ、次の島周りで見てみたい。

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。  
4 書き終わったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

